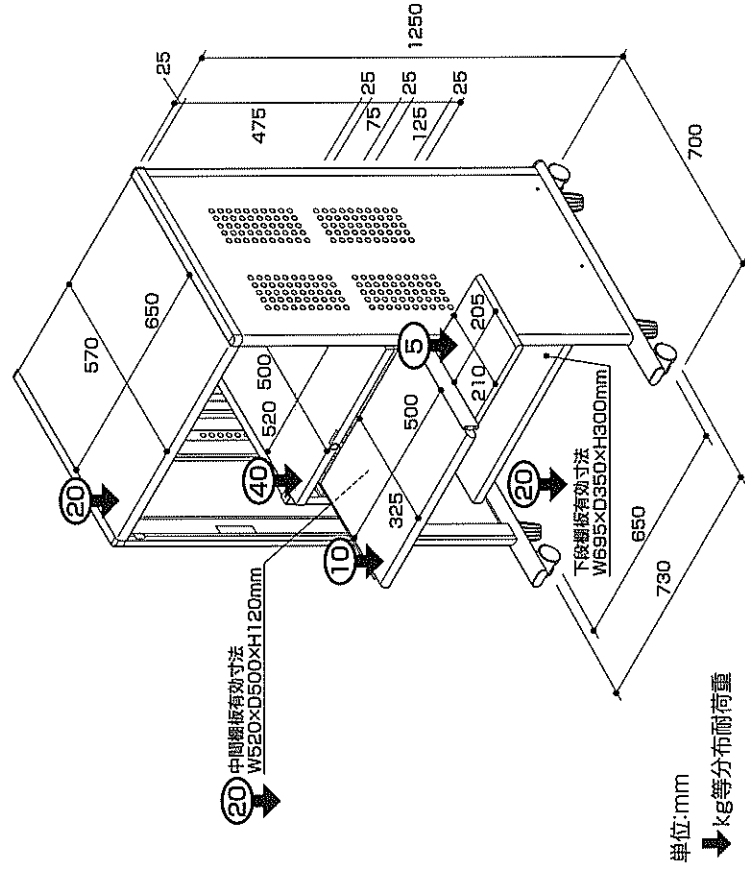


5.主な寸法と仕様



セキュリティパソコンラック マジック式扉(左右開き)タイプ
PSS-101

- 本体寸法: W730xD700xH1250mm
- 材質: キーボード用: アルミ/ハードディスク用: ポリカーボネート/メタリウム化粧板
- 脚部: 棚板/スチール 粉体溶射塗装

主な特徴

- ドアフル閉止扉&シリンダー錠付き
- スライド式キーボード&マウストレープル付き(左右引出し可能)
- キヤスター、アジャスター付き

単位: mm

↓ kg等分布耐荷重

Nakabayashi

セキュリティパソコンラック 取扱・組立説明書

品番
PSS-101

1. 組立てる前に

- △ 組立作業は2人以上で行いますと、短時間で容易に組み立てることができます。また、組み立て中の転倒など事故防止にもなります。
- △ 部品の角や端部にご注意ください。手袋をはめて頂くとより安全に作業できます。

2. 安全上の注意

■ 使用環境・使用条件に関するご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかる所などでは使用しないでください。サビや故障、変色の原因となります。
- 直射日光や暖房機具の熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しい場所での使用は避けてください。サビや変色、変形の原因となります。

■ 設置・据え付けに関するご注意

- 製品を設置されるときは、水平な場所に置いてください。また、アジャスターなどが付いている場合には、製品本体が水平を保つよう調整してください。水平が保たれないまま設置されると、本体のゆがみや可動部の動作不良など、使用上の支障をきたす恐れがあります。
- この製品を設置する際にキャスターは使わないで下さい。本体の歪みやネジが発生し、扉が正常に作動しない恐れがあります。設置の際は、アジャスターを御使用ください。
- △ お客様組立商品の場合には、組立説明書の指示に従い、ボルトやネジにゆるみがないよう十分に締めつけてください。破損や変形によりけがの原因となる場合があります。

■ 用途以外の使用に関するご注意

- △ 天板、棚板、本体の上に乗ったり、腰掛けたりしないでください。転倒や破損によってけがをされる恐れがあります。
- △ キヤスター付きの商品を台車や運搬車代わりに使用しないでください。転倒や破損によってけがをされる恐れがあります。
- △ 扉にぶらさがらないでください。扉が破損したり、本体が転倒しケガの原因になります。

■ 使用方法に関するご注意

- △ 天板、棚板や引き出しには、耐荷重以上に収納しないでください。変形や破損により機能に支障をきたしたり、落下によりけがをすることがあります。
- △ 天板、棚板や引き出しの収納は均等に行ってください。表示の耐荷重は均等耐荷重ですので、収納物が片寄ると耐荷重以内でも棚板や引き出しが変形し、収納物が落下したり製品が転倒したりすることがあります。
- △ 可動部のすき間に手や指を入れないでください。手や指をはさんでけがをすることがあります。
- △ 扉の開閉時には力ずくを必ず抜取りください。カギが破損する恐れがあります。
- △ 扉の開閉時には本体側面の穴より指を入れないでください。指をはさんだり、ケガの原因となります。
- △ 扉を開けた状態での本体の移動はやめてください。本体が転倒し、ケガの原因となります。

■ 保守点検に関するご注意

- お手入れの際には、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい場合には、うすめた中性洗剤を含ませた布でかるく拭いて汚れを落とし、その後洗剤が残らないよう水拭きおよびからぶきをしてください。ペンジン、シンナー、クレンザーなどは使用しないでください。
- △ ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じたときは、早めに締めなおしてください。ゆるんだまま使用すると、本体の変形や破損、転倒などでけがをすることがあります。
- 製品の分解や改造を行ったり、部品がはずれたままで使用しないでください。破損やけがをすることがあります。

■ 保管、破棄

- 製品を第三者に貸与したり譲渡したりする場合には、この取扱説明書を必ず添付し、取扱方法を十分に説明してください。
- 廃棄処分をする場合には、弊社にご相談いただくか、廃棄物処理の専門業者におまかせ下さい。

このたびは、弊社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

- この説明書は製品のご使用にあたり、注意していただきたい事項について説明したものです。ご使用前の前の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使い下さい。また、製品本体の表示ラベルも併せてお読み下さい。このラベルは誤った使い方や事故を防止するためのものですから、絶対にはがさないで下さい。
- この説明書は大切に保管し、必要なときにお読み下さい。

● この商品に関するご意見、ご質問については下記へお寄せ下さい。

ナカバヤシ株式会社

〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1番23号

お問い合わせは ☎0120-166779

ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。

<http://www.nakabayashi.co.jp/>

MADE IN JAPAN

3. 部品の確認 この製品はA、B梱包に分かれています。組立てる前に、部品を確認して下さい。

A 梱包

- 天板 1枚
- 中間棚板 1枚
- インナー棚板 1枚
- 下段棚板 1枚
- マウステーブル 1枚

A 梱包内箱 (A 梱包の中に小箱が入っています。)

- インナー間口パネル 1枚
- 落下防止板 1枚
- スライドレール上、下R 2本
※上Rと下Rは共通形状になります。
- スライドレール上、下L 2本
※上Lと下Lは共通形状になります。
- バックパネル 1枚
- マウスレール 2本
※同じ形状の物が2本入っています。
- スライドパネル 2枚
※同じ形状の物が2枚入っています。
- 伸縮式スライドレール 2本
※同じ形状の物が2本入っています。
- アジャスター 4個
- キャスターセーサー付き2個
※ストッパー無し2個
- ローターキャッチA 4個
- ローターキャッチB 2個
- スライドテープ 4枚
- ストッパー金具B 2個
- ローターA 8個
- 蝶番座金 4個
- スライドレール上、下R 2本
※上Rと下Rは共通形状になります。
- スライドレール上、下L 2本
※上Lと下Lは共通形状になります。
- アジャスター 4個
- キャスターセーサー付き2個
※ストッパー無し2個
- ローターキャッチA 4個
- ローターキャッチB 2個
- スライドテープ 4枚
- ストッパー金具B 2個
- ローターA 8個
- 蝶番座金 4個

部品セットA

- ストッパー金具A 2個

部品セットA	名称	仕様	数量
ボルトA	ボルトA	M6*15	20
ナットA	ナットA	M6	4
平ワッシャ	平ワッシャ	M6	8
ボルトB	ボルトB	M6*15 P3	4

部品セットB

- ローターA 8個
- 蝶番座金 4個
- スライドテープ 4枚
- ストッパー金具B 2個

部品セットB	名称	仕様	数量
ボルトC	ボルトC	M4*8	16
ボルトD	ボルトD	M4*10	8
ボルトE	ボルトE	M6*15 P3	8
ナットB	ナットB	M6	8
スプリングワッシャ	スプリングワッシャ	M6	8

部品セットC

- 蝶セット 1個
- ローターキャッチ 2セット
- スペリ紙 2個

部品セットC	名称	仕様	数量
ボルトF	ボルトF	M3*6	8

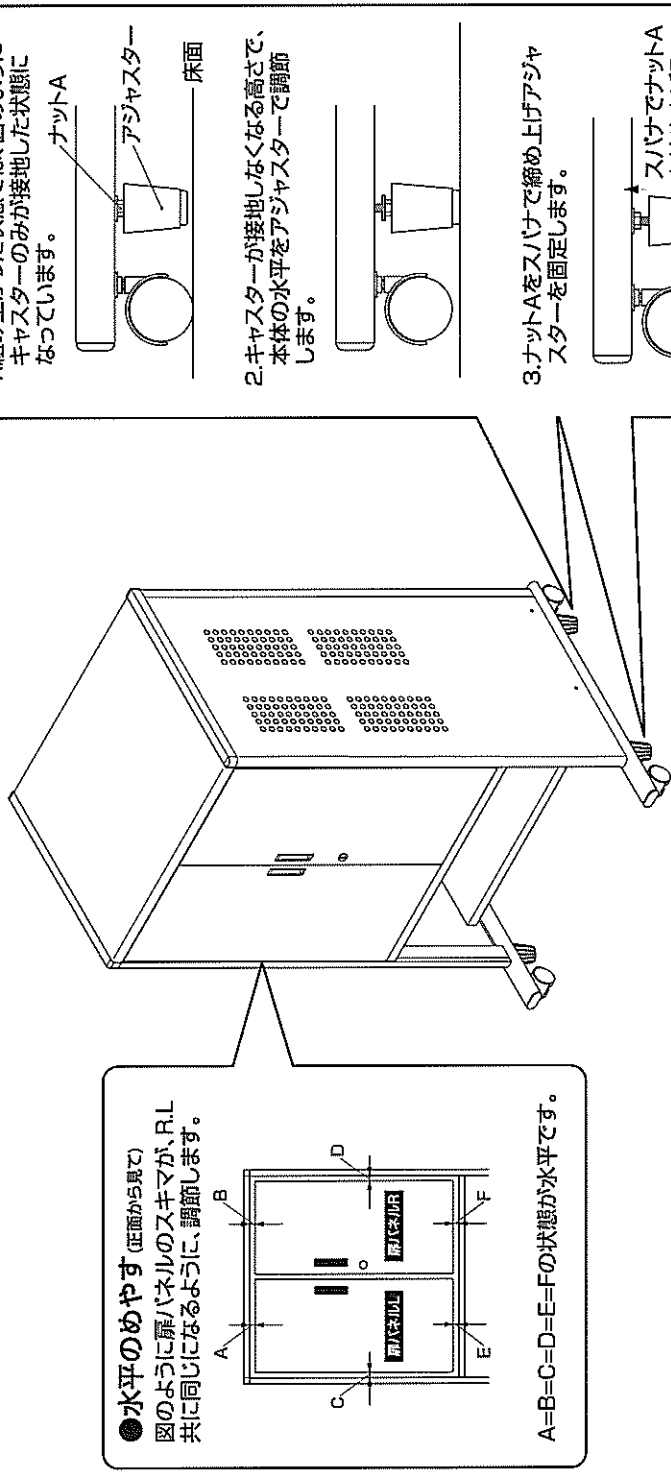
部品セットD

- ストッパー金具C 2個

部品セットD	名称	仕様	数量
ボルトG	ボルトG	M6*15	14
ボルトH	ボルトH	M4*8	8
ボルトI	ボルトI	M6*35	6
ナットB	ナットB	M6	2
ダボネジ	ダボネジ	M6	2
スプリングワッシャ	スプリングワッシャ	M6	2

12. 本体を水平に調節する。

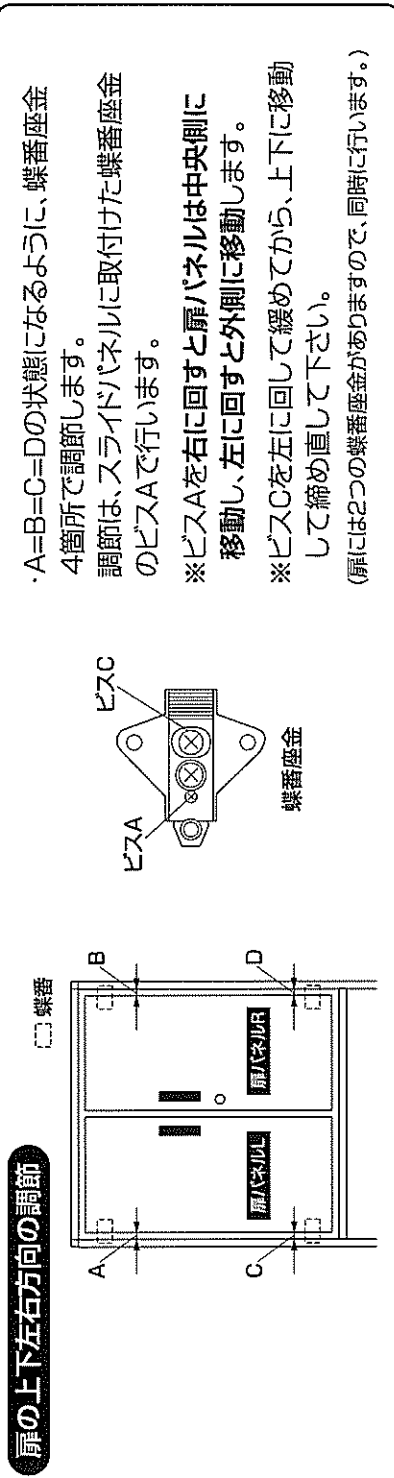
- 本体のボルトやビスに、緩みなどがなければチェックします。緩みなどがある場合は、締め直して下さい。
- ※チェックする場合は必ず本体を水平な場所に置いて下さい。傾きのある場所で行うと本体がゆがむ場合があります。
- 本体が水平を保つように、アジャスター4箇所を調節します。
- ※本製品はキャスターではなくアジャスター4箇所自立させる事を前提とした設計になっています。
- 設置する際は本体がアジャスターで水平を保つように、必ず以下の調節を行って下さい。
- 下図の水平の目安を参考にアジャスターで調節して下さい。



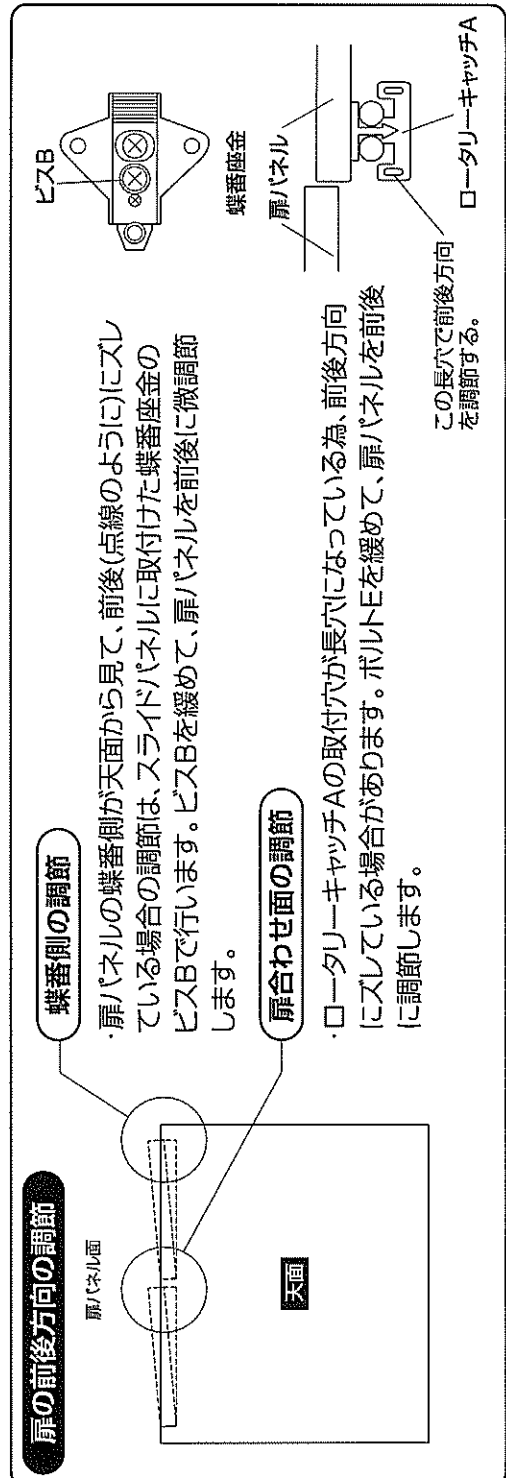
1. 組み上がった状態では、図のようにキャスターのみが接地した状態になっています。
2. キャスターが接地しなくなる高さで、本体の水平をアジャスターで調節します。
3. ナットAをスリッパで締め上げアジャスターを固定します。

13. 扉パネルを水平に調節する。

- 本体が水平に調節できたら、扉パネルを水平に微調節します。調節は正面から見た場合と天面から見た場合の2通り行います。
- A=B=C=Dの状態になるように、蝶番座金4箇所を調節します。



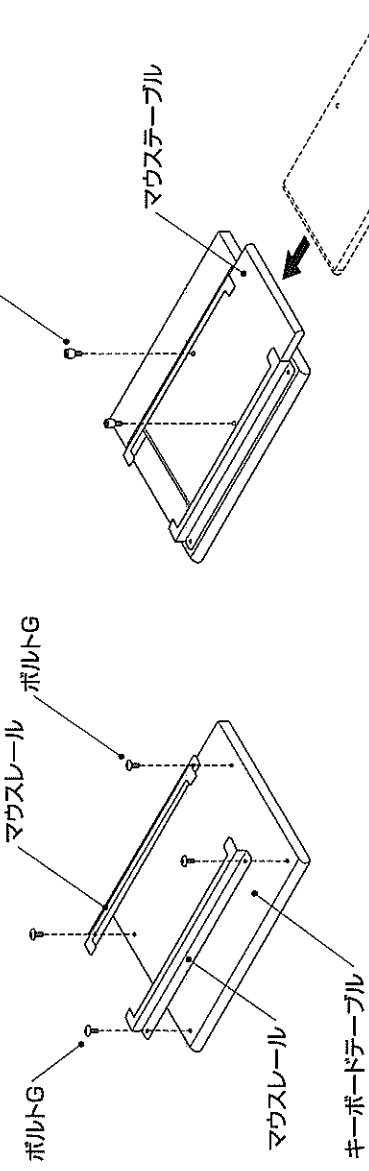
- A=B=C=Dの状態になるように、蝶番座金4箇所を調節します。
- 調節は、スライドパネルに取付けた蝶番座金のビスAで行います。
- ※ビスAを右に回すと扉パネルは中央側に移動し、左に回すと外側に移動します。
- ※ビスCを左に回して緩めてから、上下に移動して締め直して下さい。
- (扉には2つの蝶番座金がありますので、同時に行います。)



- 扉の前後方向の調節
- 蝶番側の調節
- 扉合わせ面の調節
- 扉パネルの蝶番側が天面から見て、前後(点線のよう)にズレている場合の調節は、スライドパネルに取付けた蝶番座金のビスBで行います。ビスBを緩めて、扉パネルを前後に微調節します。
- ローターキャッチAの取付穴が長穴になっている為、前後方向にズレている場合があります。ボルトEを緩めて、扉パネルを前後に調節します。
- この長穴で前後方向を調節する。

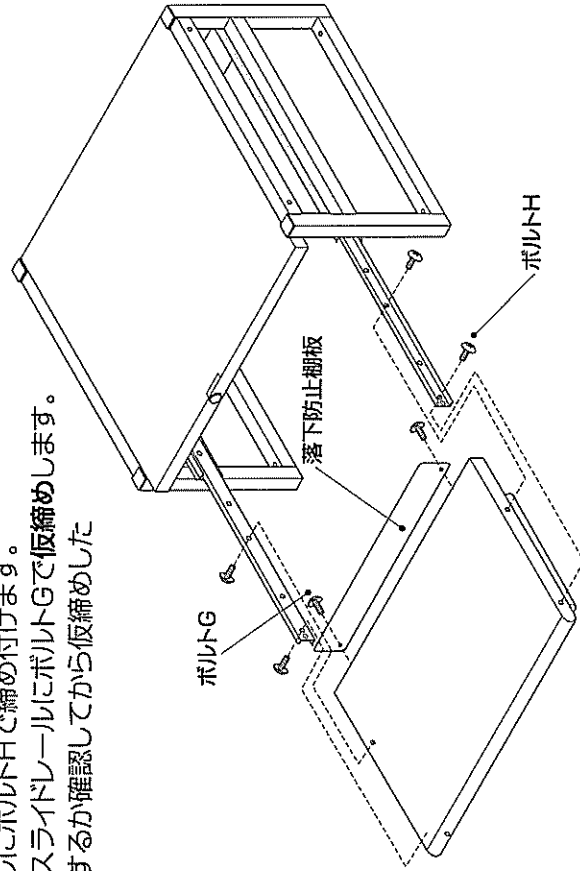
9. スライドユニットを組立てる。

- ・キーボードテーブルにマウスレールをボルトGで仮締めします。
- ・マウステーブルを差し込み、ダボネジを締め付けます。
- ・マウステーブルがスムーズに動作するか確認してから仮締めたすべてのボルトを締め付けます。



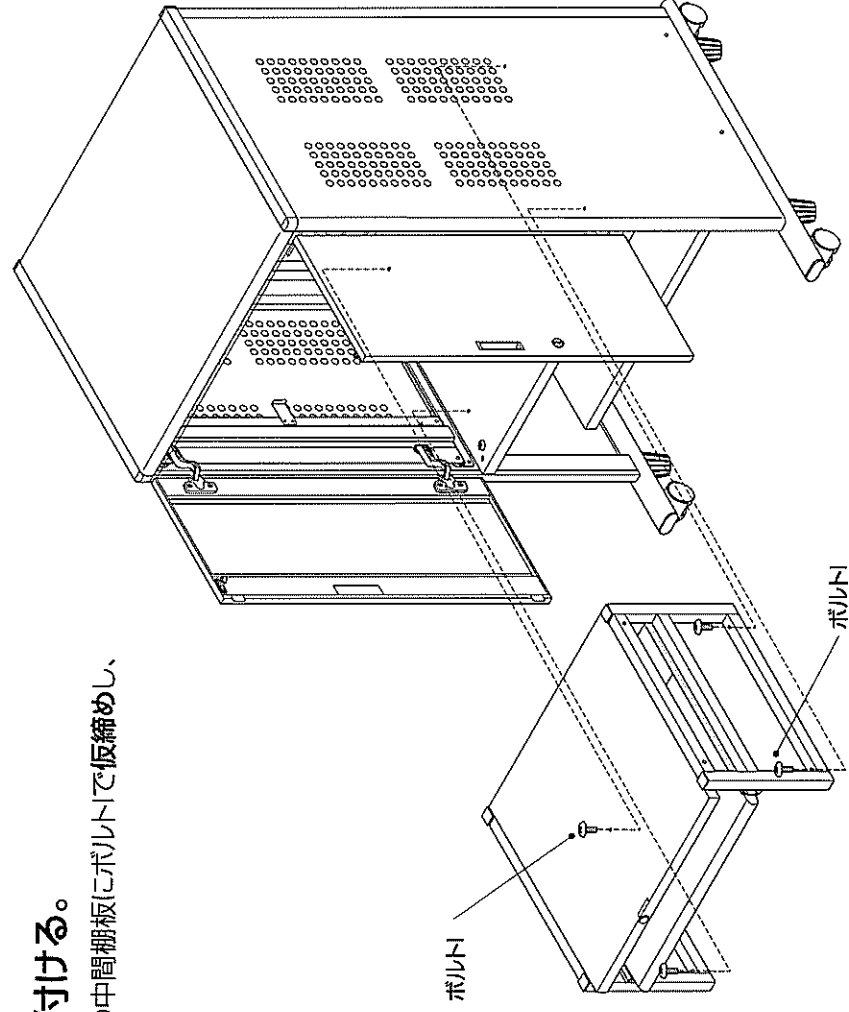
10. スライドユニットを取付ける。

- ・落下防止柵板をキーボードテーブルにボルトHで締め付けます。
- ・組立てたスライドユニットを伸縮式スライドレールにボルトGで仮締めします。
- ・スライドユニットがスムーズに動作するか確認してから仮締めたすべてのボルトを締め付けます。



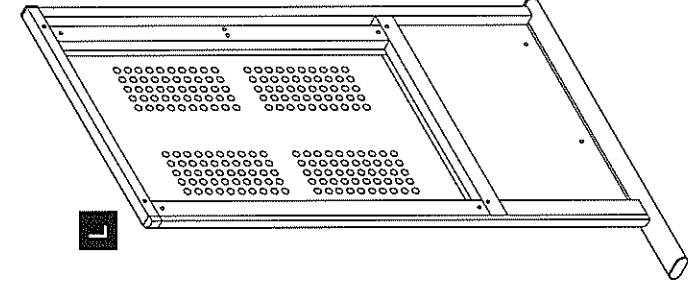
11. インナーフレームを取付ける。

- ・組立てたインナーフレームを、本体の中間柵板にボルトIで仮締めし、後に本締めします。

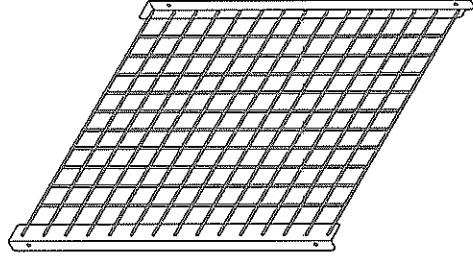


B梱包

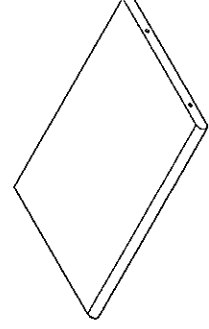
- 脚パネルR,L 各1枚



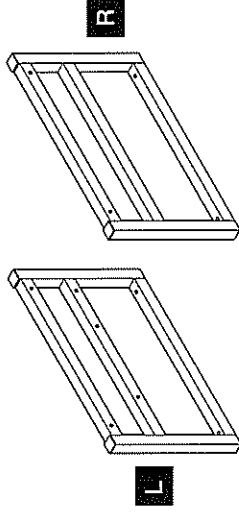
- バックフレーム 1枚



- キーボードテーブル 1枚



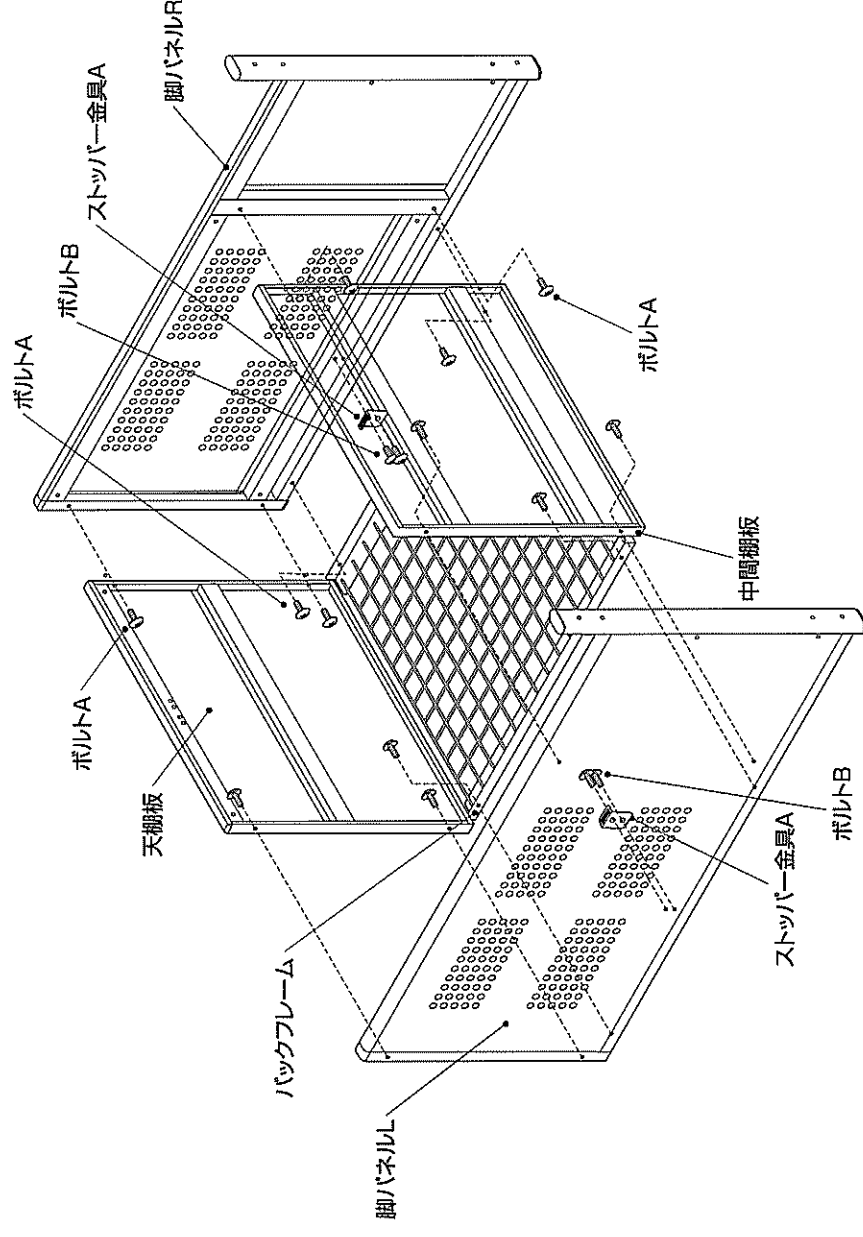
- インナーフレームR,L 各1本



4. 組立方法 組立ての際は、必ず手袋を着用して下さい。

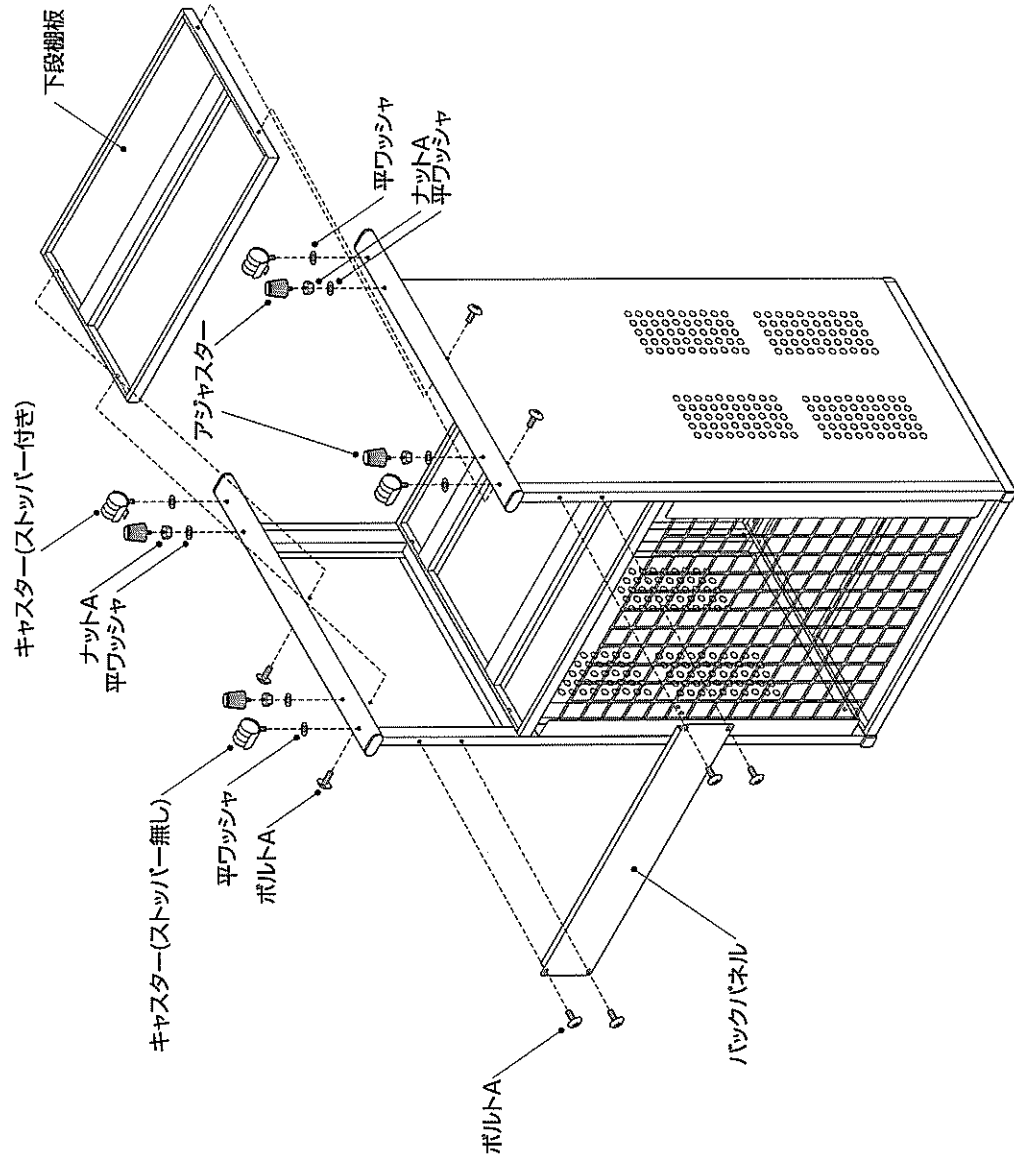
1. 天棚板、中間柵板、バックフレームを取付ける。

- ・図のように寝かした脚パネルRに天棚板、中間柵板、バックフレームをボルトAで仮締めします。
- ・脚パネルRに取付けた天棚板、中間柵板、バックフレームに脚パネルLをボルトAで仮締めします。
- ・脚パネルR,Lにストッパー金具AをボルトBで締め付けます。



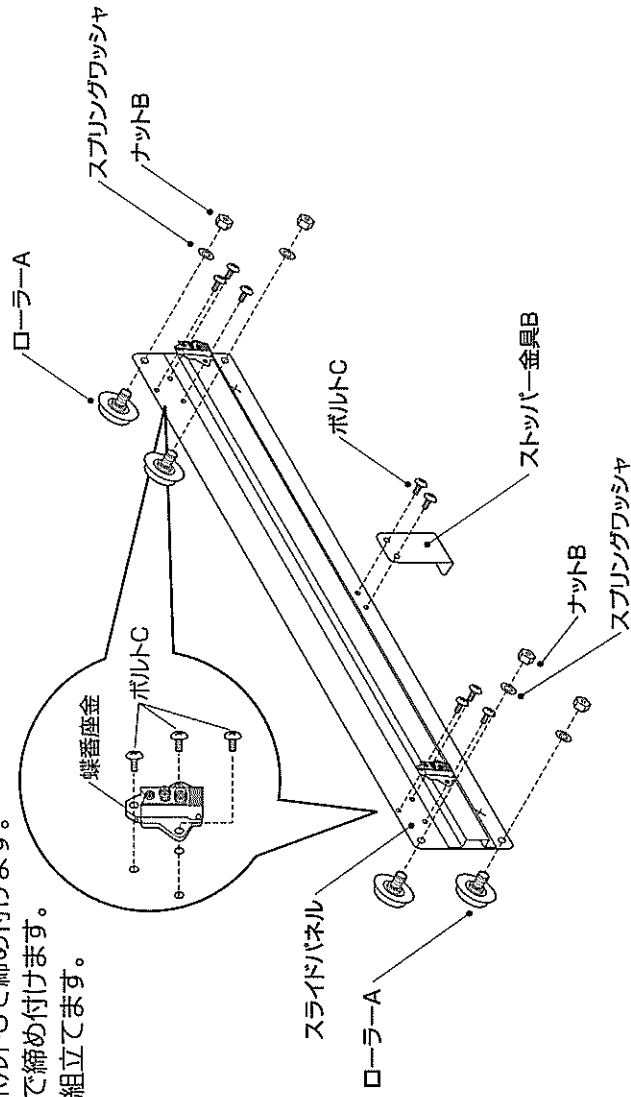
2. 下段棚板、バックパネル、キャスター・アジャスターを取付ける。

- ・天棚板を底にして、図のように本体を立てます。
- ・天棚板を底にして本体を立てる場合は必ず水平な場所に置いて下さい。
- ・下段棚板をボルトAで仮締めします。
- ・バックパネルをボルトAで仮締めしその後、仮締めしたすべてのボルトを本締めします。
- ・本締めする場合は、必ず水平な場所に置いて下さい。傾きのある場所で本締めを行うと本体がゆがむ場合があります。
- ・平ワッシヤを取付けたキャスターをスパナで締め付けます。
- ・平ワッシヤとナットAを取付けたアジャスターをスパナで締め付けます。



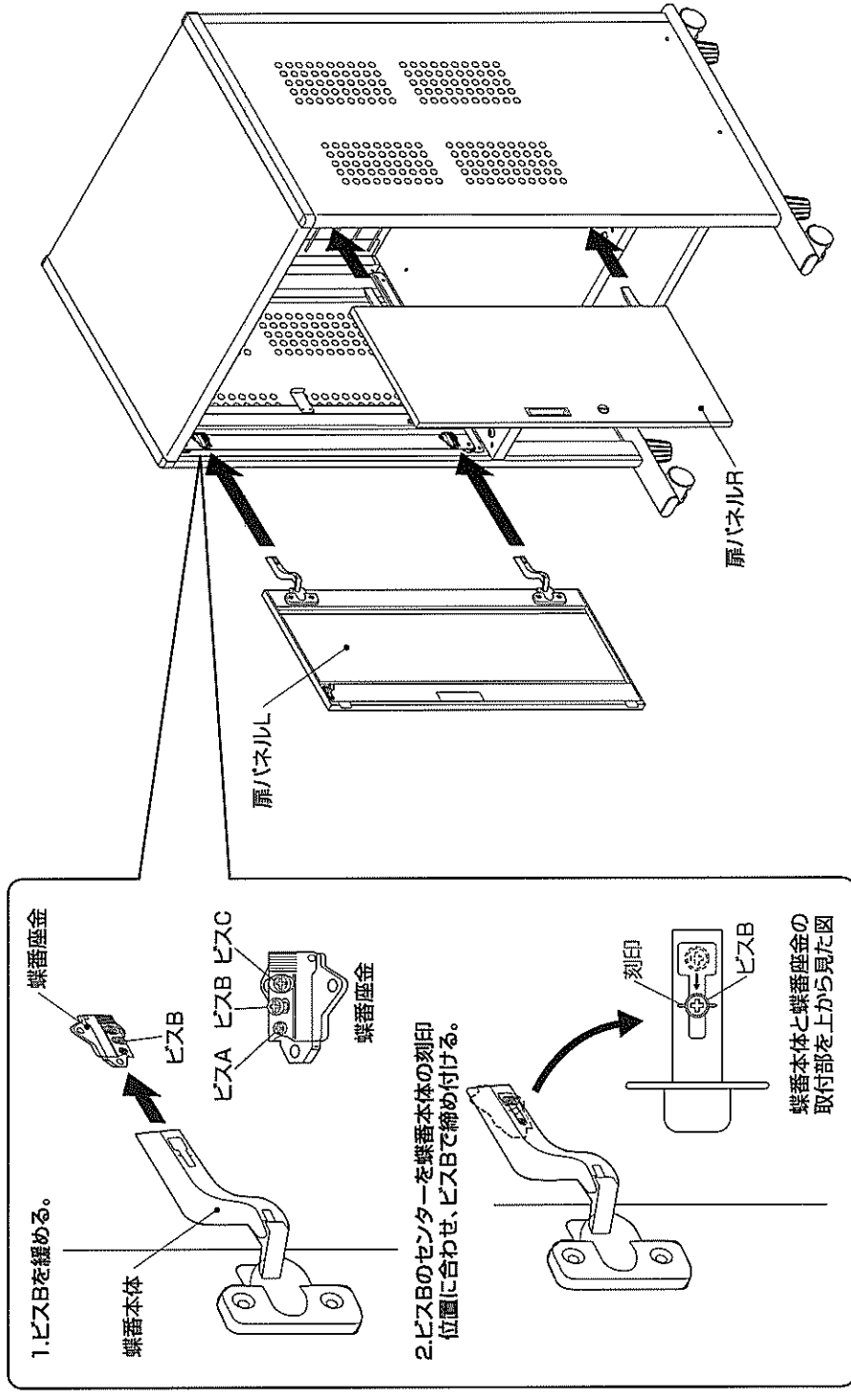
3. スライドパネルを組立てる。

- ・スライドパネルにローラーAをナットBとスプリングワッシヤで取付けます。
- ・ストップバー金具BをボルトCで締め付けます。
- ・蝶番座金をボルトCで締め付けます。
- ・同じ手順で2枚目も組立てます。



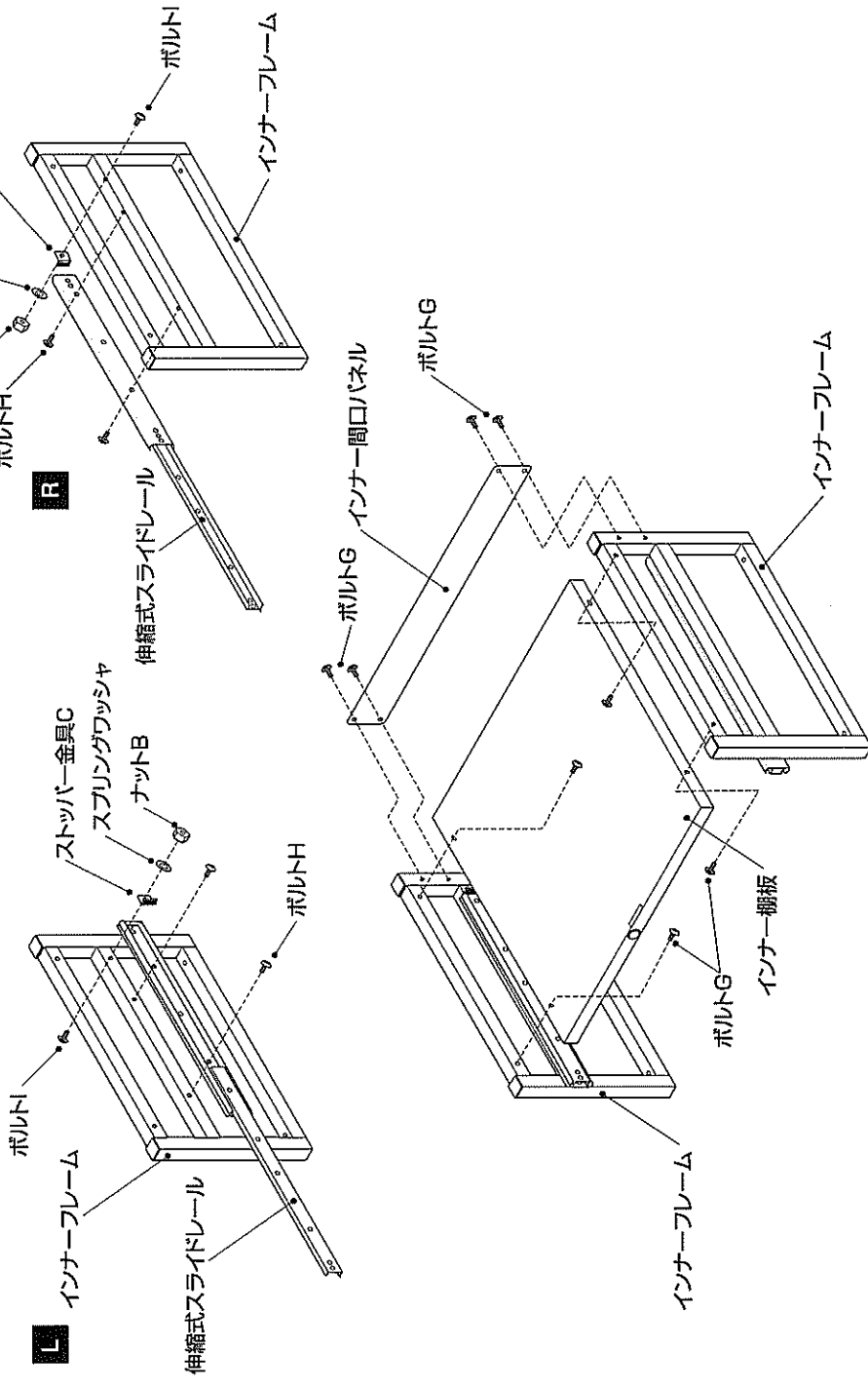
7. 扉パネルを取付ける。

- ・スライドパネルに取付けた蝶番座金に取付けてあるビスBを緩めます。
- ・扉パネルに取付けた蝶番本体を、蝶番座金に図のようにビスBで締め付けます。



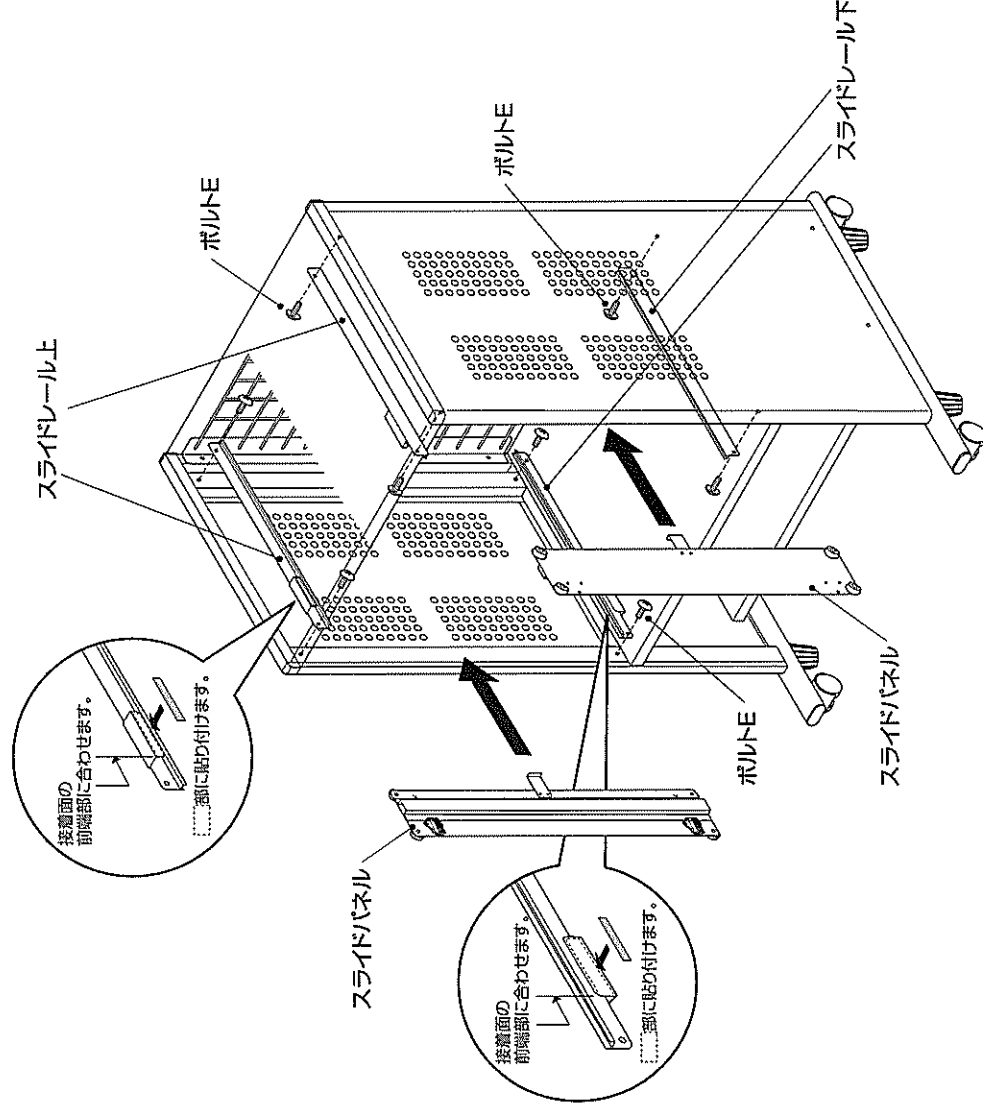
8. インナーフレームを組立てる。

- ・インナーフレームに伸縮式スライドレールをボルトHで取付けます。
- ・インナーフレームにインナー間口パネル、インナー棚板をボルトFで仮締めします。
- ・ストップバー金具CをボルトHとスプリングワッシヤとナットBで締め付けます。



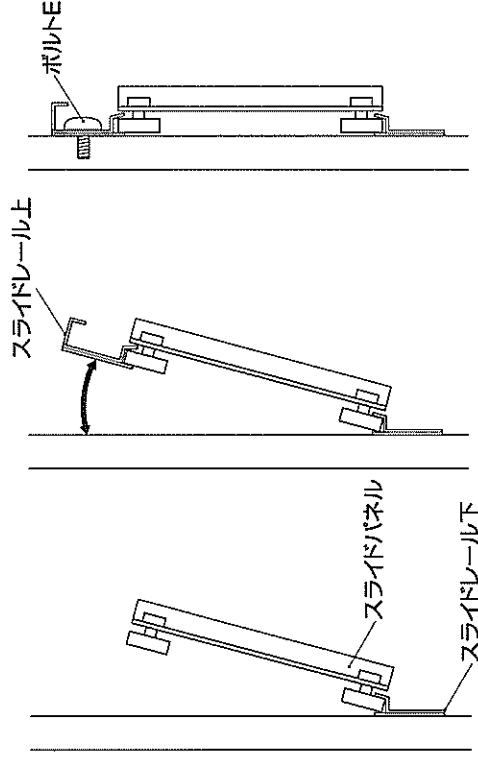
4. スライドパネルを取付ける。

- ・本体を起こし、スライドレール下をボルトEで締め付けます。
- ・スライドレール上にスライドテープを貼り付けます。
- ※この時、接着面の前端に合わせて貼り付けて下さい。
- ・スライドパネルを図のようにスライドレール下に乗せた状態で、スライドレール上をボルトEで仮締めします。
- ※スライドレール上を取り付ける際に、同時にスライドパネルを取付けしないと取付できません。
- ・スライドパネルを図のように手前に引き寄せ、スライドレール上の手前側のボルトEを本締めします。
- ・スライドパネルを図のように奥側に寄せ、スライドレール上の奥側のボルトEを本締めします。



● スライドパネルとスライドレール上の取付手順

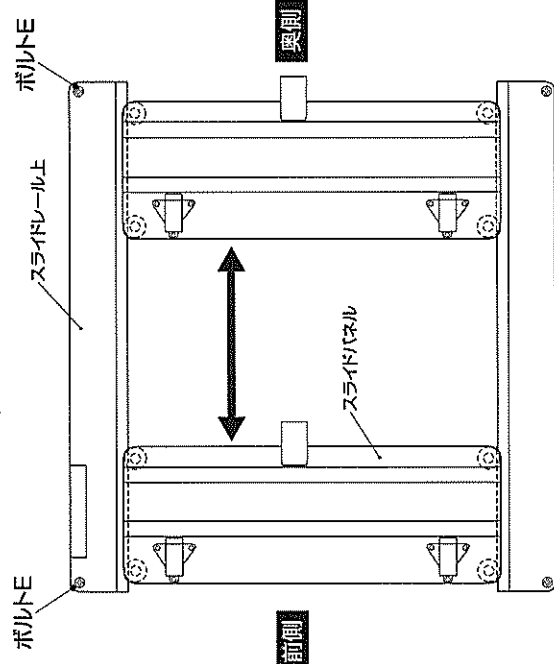
※以下の図は説明上、比率を調整しております。
(下図はスライドパネルを示します。スライドパネルRも同様の取付方法です)



1. スライドレール下にスライドパネルを乗せる。
2. スライドパネル上側のローラー部にスライドレール上を乗せる。
3. スライドレール上をボルトEで仮締めします。

● スライドレール上の本締め手順

※以下の図は説明上、比率を調整しております。
(下図はスライドレール上の左側を示します。スライドレール上右側も同様の取付方法です)

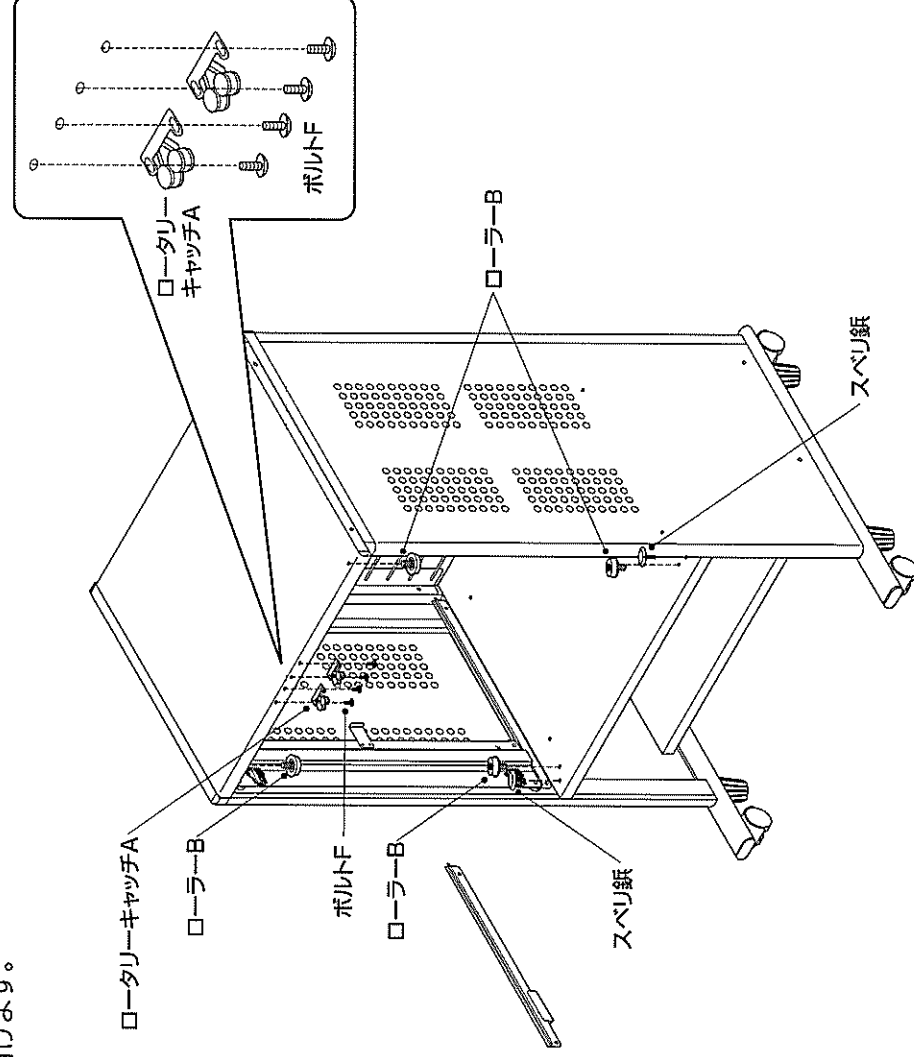


手前側のボルトEを本締めする場合は
スライドパネルを手前側に寄せる。

奥側のボルトEを本締めする場合は
スライドパネルを奥側に寄せる。

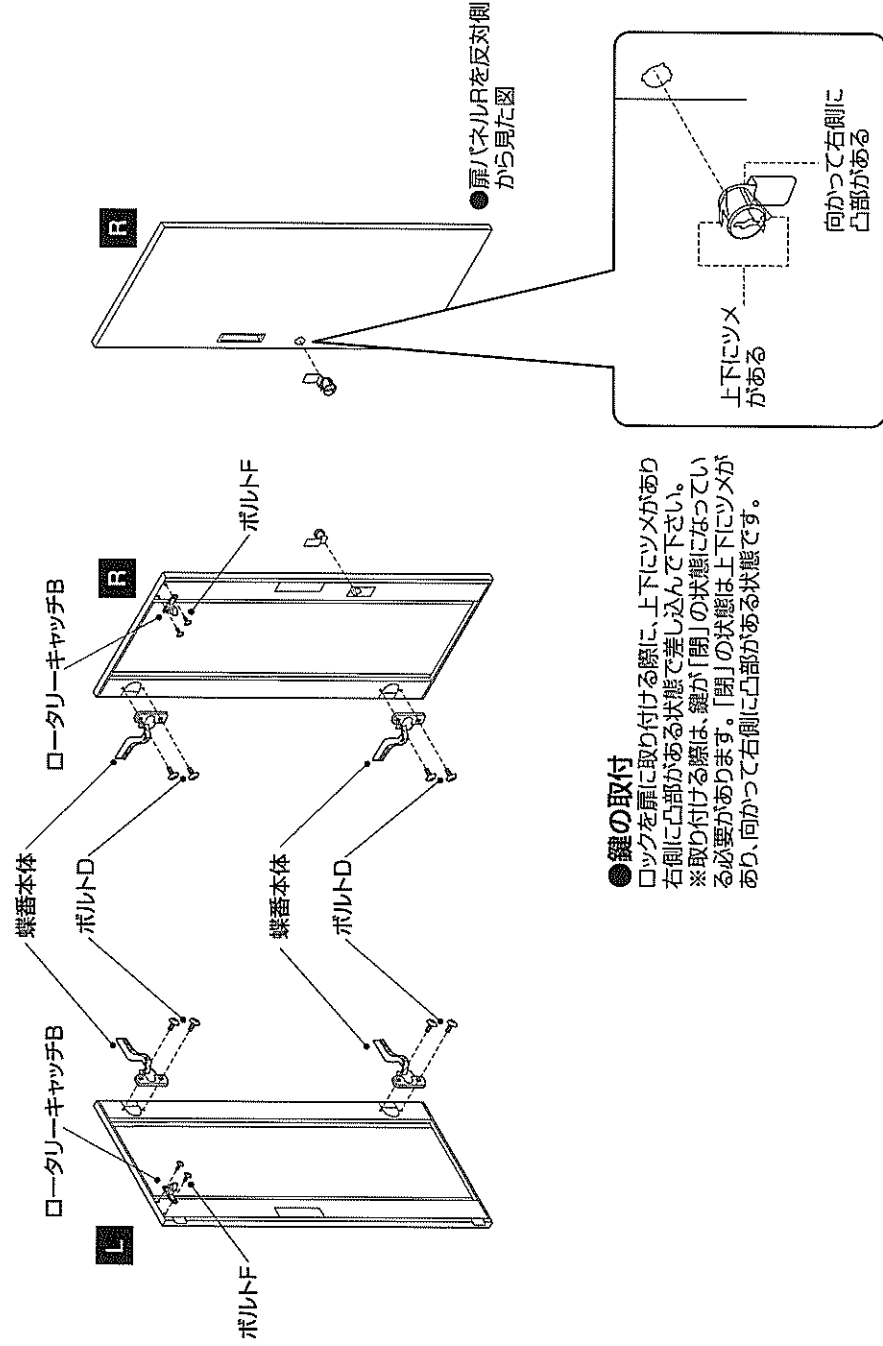
5. 扉パネル用部品を取付ける。

- ・中間棚板にローラーBとスベリ紙、天棚板にローラーBを取付け、ロータリーキャッチAをボルトFで締め付けます。



6. 扉パネルを組立てる。

- ・扉パネルR.LにロータリーキャッチBをボルトDで取付けます。
- ・扉パネルRに鍵を取付けます。
- ・蝶番本体を扉パネルR.LにボルトDで取付けます。



● 鍵の取付

ロックを扉に取り付ける際に、上下にソメがあり右側に凸部がある状態で差し込んで下さい。
 ※取付けの際は、鍵が「閉」の状態になっていない必要があります。「閉」の状態は上下にソメがあり、向かって右側に凸部がある状態です。